

#ミャンマー国軍の資金源を断て
脅かされるミャンマーの少数民族の命と暮らし
悪化する人権状況の報告 2022/5/13

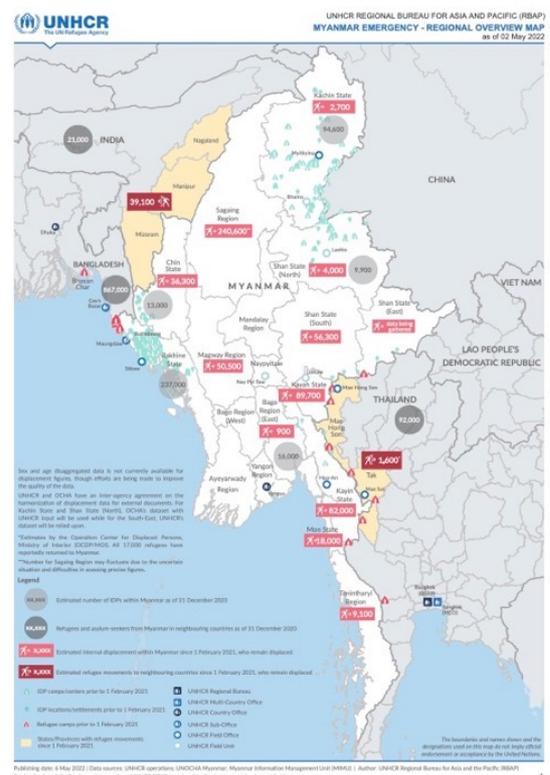
現地NGO等からの
少数民族居住地域での被害の報告

メコン・ウォッチ

国連 (UNHCR) 報告

国連難民高等弁務官事務所:
UNHCR

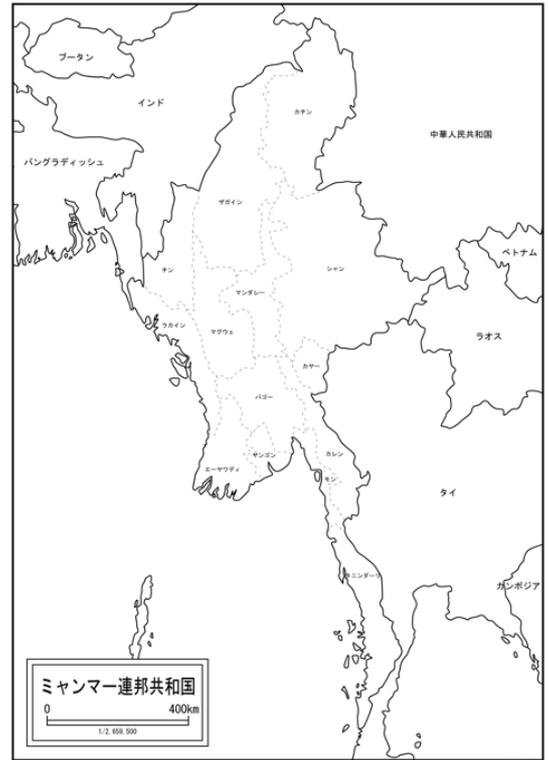
- 2022年5月2日時点の国内避難民 (IDP) の推計値937,000人
- 2021年2月のクーデター以降の IDPは推定590,000人、近隣国へ避難している難民は59,000人
- <https://reporting.unhcr.org/myanmarsituation> にレポート掲載



ミャンマーの行政区分： 管区域と州

【7管区域】（ビルマ民族が主に居住）
ザガイン管区域 タニンダリー管区域
バゴー管区域 マグウェ区域
マンダレー管区域 ヤンゴン管区
エーヤーワディー管区域

【7州】（少数民族が多く居住）
カチン州 カレンニー(カヤー)州
カレン(カイン)州 チン州 モン州
ラカイン州 シャン州



クーデターから1年時点での状況

- ミャンマーの人権状況などを調査するオルセアン-ビルマ (Altsean-Burma) の報告：クーデター以降の1年間で武力衝突や民間人への攻撃が8,647回発生。同じ時期にシリア、アフガニスタン、イエメンで起きた衝突や攻撃の回数よりも多い
 - 2022年2月1-25日、武力衝突や民間人への攻撃が741回。1日あたり29.64回（2020年は年平均23.69回）
- 『イラワディ』誌は2022年2月17日、独立した調査団体からの情報として、クーデター以降ミャンマー国軍勢力が全国で4,571棟の民間人の住居に放火したと報道
 - 半数以上の2,567棟がザガイン州、976棟がチン州。他にマグウェ管区域、カレンニー州、カレン州、シャン州なども被害に

各地の状況

NGOの報告から

(各団体が呼称にビルマを使用しているためそれに準じた)

シャン州



地図:
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=16824084>
より

シャン人権基金 (Shan Human Rights Foundation)

<https://shanhumanrights.org>

- シャン州で起きた国軍による民間人に対する暴力の情報を収集、発信
- 最新のものは5/11付。今年2-4月でに国軍はこの地域で活動している国民防衛隊 (PDF)を弾圧するために展開し、村人10人が死亡(うち9人は拷問後に殺害)、6家屋が略奪され、さらに7家屋が放火された。この影響で800人以上が近くの村や森に避難を余儀なくされた。
- 出典: Extrajudicial killing, torture, arbitrary arrest, looting, torching of houses by SAC troops in Ywangan, southern Shan State, February-April, 2022

シャン女性行動ネットワーク (SWAN:Shan Women's Action Network)

<https://www.shanwomen.org/home>

- SHRF同様、以前の軍政時代から活動。シャン州での人権侵害(国軍によるものに限らない)のまとめを毎月出すなどしている。
- レポート "The Facts on Human Rights Violation in Shan State" など

カレンニー(カヤー)州 (1)

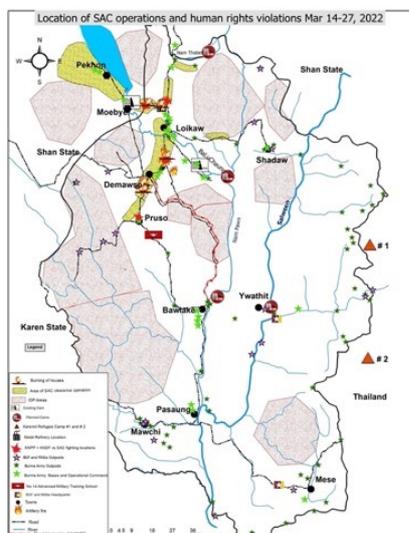


地図出典
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Kayah_State_in_Myanmar.svg

カレンニー人権グループ (Karenni Human Rights Group)

- 比較的新しい組織(ウェブページなし、報告書はProgressive Voiceのウェブに掲載)。カレンニー州での国軍による人権侵害状況を収集、発表している
- 最新の出版物は今年4月の人権侵害状況をまとめた資料“KARENNI STATE HUMAN RIGHTS VIOLATION SITUATION 1ST TO 30TH APRIL 2022”。これによれば4月には国軍によって民間人10人が殺され、15人が逮捕、128の家屋が放火や砲撃などで破壊され、避難民も新たに発生
- 今年1月から3月までの人権侵害状況をまとめた資料 “KARENNI HUMAN RIGHTS GROUP – QUARTERLY BRIEFER”.
- 2月にはカレンニー州での国軍による人権侵害状況(2021年初めから2022年1月まで)をまとめた “THE WORLD MUST KNOW” を共同発表、等

カレンニー(カヤー)州 (2)



カレンニー市民社会ネットワーク (Karenni Civil Society Network)

- タイに拠点。カレンニー州およびシャン州南部での国軍による人権侵害状況の詳細を定期的に発表(注: bi-weekly report という2週間分の詳細をまとめた資料を出す、発行は実質不定期)。Progressive Voice のサイトに掲載される
- 最新の bi-weekly report は今年3月30日付。3月14日～27日までの2週間。詳細で、郡ごとの避難民の数が出ているほか、詳しい地図も添付されている(左図)
- Bi-weekly situation update by the Karenni Civil Society Network, March 14-27, 2022, Summary of SAC human rights violations in Karenni State and Pekhon Township

カレン(カイン)州



地図出典:
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=16824001>による

カレン人権グループ(Karen Human Rights Group)

<https://www.khrg.org/>

- 以前の軍政時代から活動。ビルマ南東部での人権侵害状況を調査、記録する。戦闘行為が行なわれている地域の地区ごとの最新状況を頻繁に発表している。
- 最新の地区ごとの状況報告は、トーウー[トンゲー]地区で昨年12月から今年2月までにあった国軍の動きなどについて。“Taw Oo District Situation Update: SAC military activities, SAC attacks on CDM participants, travel restrictions, and livelihood, healthcare and education challenges, December 2021 to February 2022”

チン州



地図出典:
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=168239561>による

チン人権機構 (Chin Human Rights Organizatio)

<https://www.chinhumanrights.org>

- 以前の軍政時代から活動。チン州での人権侵害状況を調査、発表
- 最新の報告書は2021年4月から12月にチン州ミンダット郡で起きた人権侵害についてまとめたもの” COLLECTIVE PUNISHMENT: IMPLEMENTATION OF ‘FOUR CUTS’ IN MINDAT TOWNSHIP” (3月8日付)

カチン州他



地図出典：
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=16823969>による

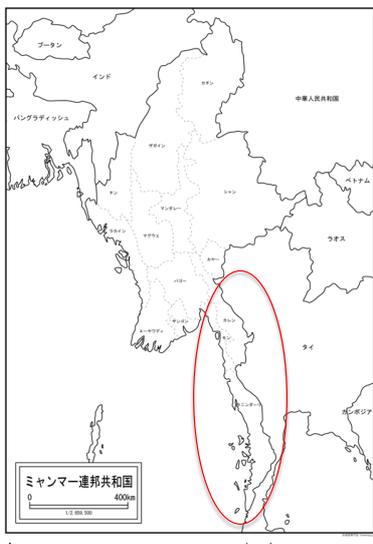
タイ・カチン女性協会 (Kachin Women's Association Thailand)

<https://kachinwomen.com>

- タイに拠点を置く組織で、以前の軍政時代から活動。ビルマ北部での武力紛争や人権侵害の状況を調査、報告している
- 最新のものは2021年12月15日付の“Justice Held Hostage”(人質にされた正義)。これによればカチン州とシャン州北部で2021年6月から10月までに国軍による砲撃などで民間人12人が死亡、30人が負傷した。拷問や、「人間の盾」「マインスイーパー(地雷原で行軍の先頭を歩かされる)」として使われた事例も報告。この期間で新たに1万4000人が避難民となっている

>>それ以前の報告についてはメコン・ウォッチのメールニュースでも紹介している。「カチン女性協会が国軍による暴力についてブリーフィングペーパーを発表」(2021年4月20日付メールニュース)

モン州、カレン州、タニンダーリ管区域



モンランド人権基金

(Human Rights Foundation of Monland)

<http://rehmonnya.org>

- 以前の軍政時代から活動。長年、モン州を中心にビルマ南部の人権状況を調査、報告している
- クーデター以降はモン州、カレン州、タニンダーリ管区域での人権侵害状況についてほぼ毎月短い報告書を発行
- 最新の報告は“Monthly Overview: Ongoing Human Rights Violation Jeopardize Civilian Safety”。今年3月1日付のもので、2月に起きた恣意的拘束、無差別の砲撃、拷問などによる被害者数などを掲載。
- 昨年12月10日(国際人権デー)にはクーデター後の2月末から11月末までに国軍がモン州、カレン州、タニンダーリ管区域で行った人権侵害の状況をまとめた報告書“Trajectory of Terror”を発表

各地からの調査報告を発信

PROGRESSIVE VOICE, ALSEAN BURMA

ABOUT PROGRESSIVE VOICE

Vision

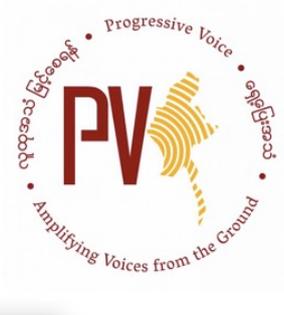
Progressive Voice envisions a federal democratic Myanmar that is free of discrimination and upholds the principles of peace, justice, self-determination and human rights.

Mission

Our mission is to amplify the voices from the ground for a principled, rights-based policy narrative on Myanmar at a local, national and international level through cooperative, collaborative, and participatory research, analysis and advocacy.

Who We Are

Progressive Voice is a participatory rights-based policy research and advocacy organization rooted in civil society, that maintains strong networks and relationships with grassroots organizations and community-based organizations throughout Myanmar. It acts as a bridge to the international community and international



<https://progressivevoicemyanmar.org>



<https://www.altsean.org/about-us.html>

ALTSEAN-Burma (Alternative ASEAN Network on Burma) was formed in October 1996 by a diverse network of organizations and individuals at the Alternative ASEAN Meeting on Burma, held in Bangkok.

Our mission is to develop and strengthen strategic relationships among key networks and organizations from Burma, Southeast Asia, and the international community; support cooperation and partnership among activists, particularly women, youth, ethnic groups, LGBTQ+, displaced people, migrants, and other marginalized communities; implement innovative strategies that are responsive to emerging needs and urgent developments; and produce practical resources for these purposes.

ALTSEAN has pursued its mission through advocacy, training and collaboration, focusing on women's participation and leadership, business and human rights, atrocity prevention, and broader human rights and democracy issues. ALTSEAN supports grassroots activists by ensuring local voices are heard at international strategy forums, including their robust analysis and policy recommendations.